

令和4年度 三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会を開催

「一日も早い着工・全線開業の実現」を目指し決議

令和4年9月6日（火）都ホテル四日市において、リニア中央新幹線の名古屋～大阪間の早期着工、一日も早い全線開業を目指し、リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会（会長 一見勝之）、リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会（会長 荒井正吾）、リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会（会長 種橋潤治）、リニア中央新幹線早期全線開業実現協議会（代表 吉村洋文、代表 松本正義）の共催により建設促進大会を開催しました。

当日は約330名（オンライン含む）が参加、主催者を代表して一見三重県知事、荒井奈良県知事、吉村大阪府知事が挨拶し、その後、来賓の古屋圭司衆議院議員、高市早苗衆議院議員、平嶋隆司国土交通省鉄道局次長、金子慎東海旅客鉄道(株)代表取締役社長からそれぞれ挨拶がありました。

また、主催者を代表して、種橋会長より「一日も早い着工・全線開業の実現」を目指した決議案を朗読提案し、満場一致で採択されました。

種橋会長は、「三重県・奈良県経済団体連合協議会」も、ルート・駅位置の早期確定、一日も早い着工・全線開業に向け、「三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進会議」の一員として、一致団結して取り組んでいく所存であると結び、大会を終了しました。



▲大会決議を読みあげる種橋会長

○建設促進大会の様子



大会終了後は、一見三重県知事、荒井奈良県知事、種橋三重県商工会議所連合会会長、小山奈良県商工会議所連合会会長、松本関西経済連合会会長による囲み取材が行われました。



▲囲み取材受ける種橋会長（左から2番目）